



国 関 整 地 河 第 4 号 の 2
平 成 2 4 年 1 2 月 1 2 日

長 野 県 知 事
阿 部 守 一 様

国土交通省
関東地方整備局長
森 北 佳 昭



一級河川信濃川水系松本圏域河川整備計画（黒沢川）の認可について（通知）

平成24年8月3日付け24河第159号により申請のありました標記について、認可します。

信濃川水系

まつもと

松本圏域河川整備計画（黒沢川）

平成 24 年 12 月

長野県

本河川整備計画は、信濃川水系松本圏域のうち、黒沢川についてのみ記載するものである。

なお、黒沢川以外の河川については、現在、調査、検討中であり、今後すみやかに河川整備計画を作成するものである。

目 次

第1章 対象流域と河川の現状

第1節 流域の概要	1
第2節 河川整備の現状と課題	4

第2章 河川整備計画の目標に関する事項

第1節 計画対象区間	6
第2節 計画対象期間	6
第3節 洪水による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	6
第4節 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項	7
第5節 河川環境の整備と保全に関する事項	7

第3章 河川整備の実施に関する事項

第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の 施行により設置される河川管理施設の機能の概要	8
第2節 河川の維持の目的、種類及び施行の場所	10

第4章 河川情報の提供、地域や関係機関との連携等に関する事項

第1節 河川情報の提供に関する事項	11
第2節 地域や関係機関との連携等に関する事項	12

第 1 章 対象流域と河川の現状

第 1 節 流域の概要

黒沢川は、長野県のほぼ中央に位置する松本市の西北西に位置し、信濃川水系犀川の左支流で流域面積は 26.5km²、全長 6.4km の一級河川である。

黒沢川は、日本アルプスの前衛である黒沢山～鍋冠山に連なる標高 1,800～2,100m の山脈に源を発し、山間を V 字谷を成しつつ流下し、主要地方道塩尻鍋割穂高線の直下流で南黒沢川と合流し、安曇野市（旧三郷村）楡地区において用水路の堀廻堰に接続する。いわゆる尻無し川の形態を成しており、これより下流は河道がないため、増水時はたびたび浸水被害を引き起こしている。

流域の大部分は、安曇野市に含まれるが、南黒沢川付近は松本市（旧梓川村）となっている。上流域の山地部は美濃帯の中・古生代の地層からなり、中・下流域は黒沢川が造った扇状地を形成している。全川砂防指定地となっており、山越沢と滝の沢の合流点には黒沢砂防ダム（H=24m、L=101.6m）が建設され、南黒沢の中流にも小室砂防ダム（H=25m、L=56m）が設置されている。

流域の約 60% を占める森林には雑木林や杉などの人工林が多く、中・下流域の扇状地においては、リンゴを主とした果樹栽培が盛んである。

黒沢川が属する松本圏域は、盆地性の地形のため極めてはっきりした内陸性の気候を示す。松本測候所における至近 20 ヶ年（1989～2008 年）の平均値では、年間平均気温が 12.0℃で、最高気温は 35.6℃、最低気温

は-11.5℃と寒暖の差が非常に大きい。また、年間平均日照時間は2,100.3時間と全国でも日照時間の多い地域(2008年全国153地点のうち6番目)となっている。

年間平均降水量は1,031.5mmと小雨地帯であるが、梅雨期、台風期に雨が多い。

黒沢川が流れる安曇野市の人口は99,260人(平成23年2月)となっており、松本市のベッドタウンとして増加の傾向にある。

松本圏域は、かつて製糸業が盛んであったが、現在は、電気・機械・食料品等の業種が発展し、さらに精密機器・コンピュータソフト等の産業も成長している。

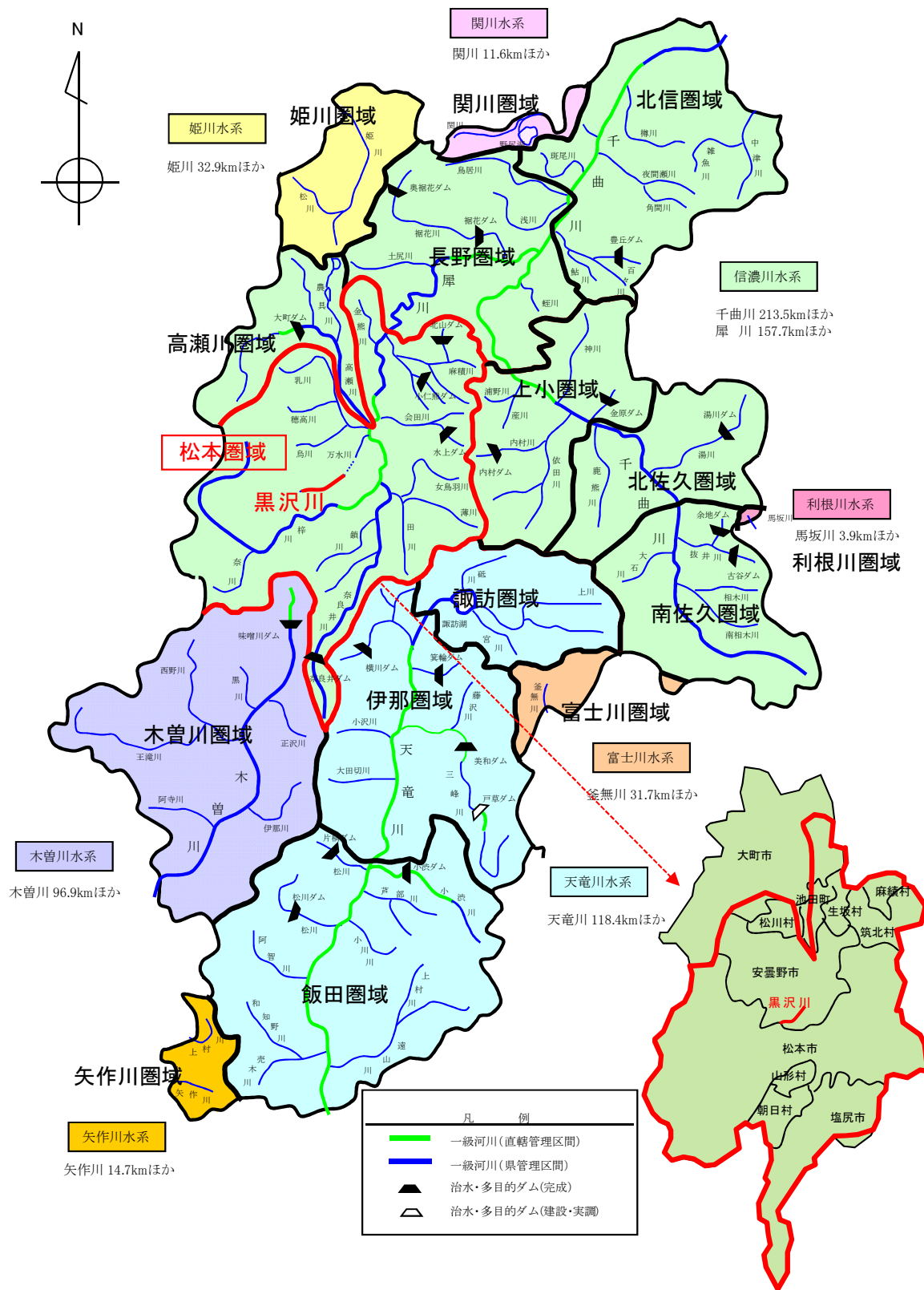


図-1 長野県河川整備計画 圏域図

第2節 河川整備の現状と課題

第1項 治水に関する現状と課題

黒沢川は、最下流部が尻無し川状態となっているため、梅雨や台風による出水時には、過去にこの区間において氾濫し浸水被害が発生している。

近年では、昭和58年9月の台風10号、平成11年6月の梅雨前線豪雨、平成18年7月の梅雨前線豪雨時に浸水被害が発生している。

こうしたことから、黒沢川の流水を犀川へ流下させるため、あづみ野排水路の建設、万水川の河川改修は、平成21年度までに完成している。

しかしながら、中流域における調節池及びあづみ野排水路への接続工事が未着手となっているため、早急に事業実施の必要がある。



昭和58年9月台風10号
(広報みさと 昭和58年10月号)



平成11年6月梅雨前線豪雨
黒沢川流末の掘廻堰における農地
への浸水被害

第2項 利水に関する現状

黒沢川は、農業用水として利用されているが、近年は渇水による取水困難など、深刻な渇水被害は発生していない。

第3項 河川環境に関する現状と課題

（水質）

黒沢川は山間部を出ると扇状地を形成しており、この区間は透水性の高い地質の影響もあり、伏流区間となっている。基本的に降雨時や融雪期以外は、南黒沢川合流点付近から最下流の掘廻堰の区間で伏流している。表流区間である山間部の土地利用の殆どが山林であるため、清浄な水質が保たれていると考えられる。

（動植物）

魚類は、山間部の表流区間で、イワナ、ヤマメ、アブラハヤ、カジカ等の生息が確認されている。

植物は、上流の山間部はアカマツ、カラマツ、スギ、ヒノキ等の人工林が多くを多く分布しており、中流域ではアカマツ、ハリエンジュ等が河畔林を形成している。

第4項 河川利用

（関係機関及び地域住民との連携）

黒沢川を接続する万水川には、1団体（平成22年度現在）の河川愛護団体があり、河川清掃、草刈、河川パトロール等を行っているが、今後、更に河川環境の保全を推進する必要がある。

また、洪水時の雨量、河川水位等の水文情報の関係機関への確実な伝達や、沿川住民が安全に避難できるよう地域が主体となる水防体制の確立が望まれる。

また、万水川下流域においては、地下水を利用したワサビの栽培や鱒の養殖が盛んであり、地下水源の保全が求められている。

第2章 河川整備計画の目標に関する事項

本圏域における河川の整備にあたっては、河川改修、水害発生状況、河川利用の現況、河川環境の保全を考慮するとともに、長野県中期総合計画、信濃川水系河川整備基本方針、第4次長野県水環境保全総合計画、第二次長野県環境基本計画等との調整を図り、治水対策を推進する。

なお、本整備計画は、流域の社会情勢の変化、自然状況・河川状況の変化、地域の意向等を適切に反映できるよう適宜見直しを行うものとする。

第1節 計画対象区間

本河川整備計画で対象とする区間は、以下のとおりとする。

河川名	区 間		河川延長
黒沢川	上流端	下流端	6,469m
	安曇野市三郷山越 3014 番の 3 安曇野市三郷山越 3013 番の 2	あづみ野排水路接続部	

第2節 計画対象期間

本河川整備計画の対象期間は、河川整備の実施に関する事項に記載されている河川整備が一連の効果を発現する期間として今後20年間とする。

第3節 洪水による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

沿川の人口や資産の集積状況、流域内の土地利用状況、災害発生時の社会的影響、他河川の改修計画規模等とのバランスを考慮し、30年に1回程度の確率で発生すると予想される降雨により生ずる洪水（犀川合流点で1秒間につき215立方メートル）を安全に流下させることのできる治水安全度を確保し、家屋、優良農耕地等への浸水被害を防止することを目標とする。

第4節 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

河川敷や堤防天端等の河川利用については、沿川住民や安曇野市等関係機関と連携を図りながら適正な利用に努める。

流水の正常な機能の維持に関しては、引き続き、取水状況の把握や流況等のデータの蓄積に努め、今後さらに検討を行う。

また、異常渇水時には農業利水者等の関係者と連携して対応を検討するとともに、関係者間の利用調整のための情報提供に努める。

第5節 河川環境の整備と保全に関する事項

河川工事及び河川の維持にあたっては、多自然川づくりを基本とし、現状の河床形態や生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した瀬・淵等の保全等、その影響の回避・低減に努め、良好な河川環境の保全・復元に努める。

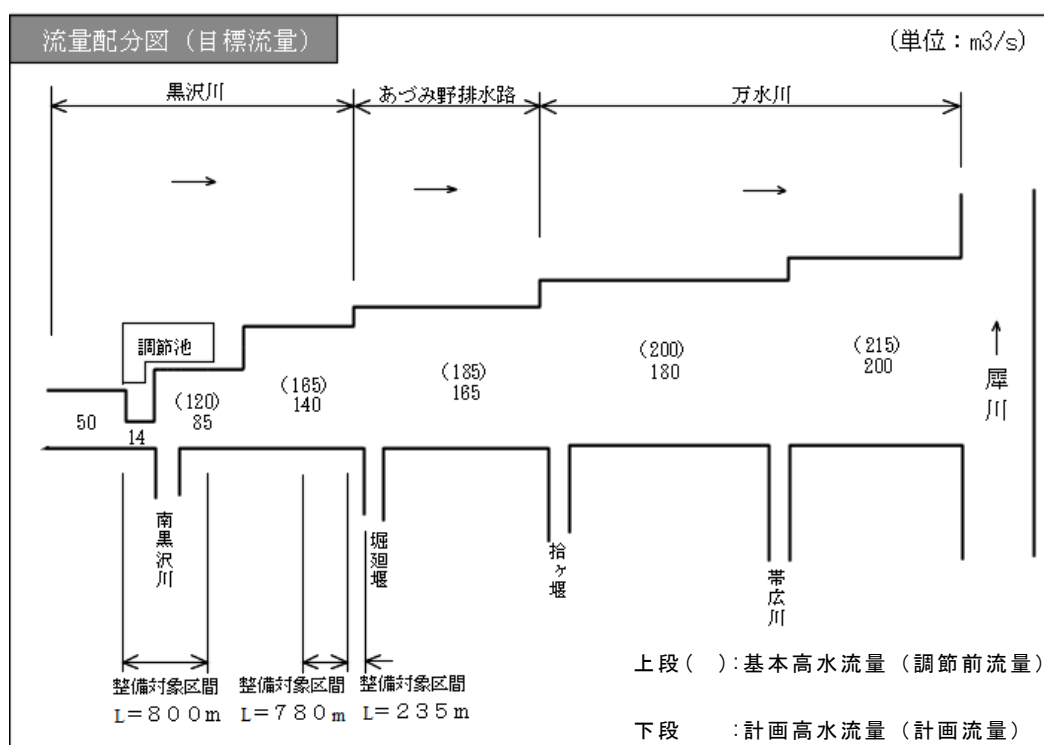
また、河川愛護団体や流域住民との情報交換により河川の流況等の把握に努めるとともに、河川愛護活動を支援し、住民参加による河川環境の保全を推進する。

第3章 河川整備の実施に関する事項

第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

第1項 河川工事の目的

30年に1回程度の確率で発生すると予想される降雨により生ずる洪水（犀川合流点で1秒間につき215立方メートル）に対し、調節池を整備して洪水調節を行うとともに、河道拡幅や河床掘削により流下能力の確保を図り、洪水氾濫から家屋、優良農耕地等への浸水を防止し、資産を守る。



図－2 黒沢川流量配分図

第 2 項 施行の場所

あづみ野排水路から黒沢川下流端までの 235m の区間

ま ま べ やまみちばし
真々部山道橋から^{ちく}千国橋までの 780m の区間

あかさわばし
赤沢橋から南黒沢合流点までの 800m の区間

第 3 項 施行の種類

河道拡幅、河床掘削、調節池、護岸整備等

第 4 項 整備の内容

河川工事の実施にあたっては、可能な限り生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した改修を基本とし、河川環境の保全や周囲の自然環境・景観に配慮した整備を行う。

また、必要に応じて、生物の生育環境を保全し、水に親しむことのできる親水施設の整備を行うとともに、できるだけ地下水の涵養に寄与できる施設構造を検討する。

第2節 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

第1項 河川の維持の目的

河川の維持管理は地域特性を踏まえつつ、洪水による災害の発生防止及び軽減、河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持、生物の生育・生息・繁殖環境に配慮した瀬・淵等の保全等、その影響の回避・低減に努め、良好な河川環境の整備と保全がなされるよう行うものとする。

第2項 河川の維持の種類及び施行の場所

- (1) 堤防、護岸等、河川管理施設の維持や流下能力を確保するため、施設の異常、土砂の堆積状況等の把握に努めるとともに、必要な箇所においては、護岸の修繕や河床掘削、流木の除去等を行い、正常な河川機能の維持に努める。
- (2) 河川モニター等、地域住民との連携を図りながら、不法投棄等の抑止、早期発見、河川管理施設等の異常及び水量、水質の監視に努め、適正な維持管理を行う。
- (3) 河川愛護団体等の住民による河川愛護活動を支援することにより、住民参加による河川環境の保全を推進する。

第4章 河川情報の提供、地域や関係機関との連携等に関する事項

第1節 河川情報の提供に関する事項

第1項 減災に資する対策

雨量、水位等に関する情報を関係機関に提供することにより、水防活動等の必要な対策への支援を行う。さらに、安曇野市等関係機関と連携して住民へ洪水ハザードマップを周知するとともに、水害防止に関する意識の向上を図り、水害発生時の迅速な避難行動を支援する。特に災害時要援護者関連施設に対しては、県・市の関係部局が連携し、警戒避難体制の構築を支援する。

第2項 河川に関する情報提供

パンフレットの配布、イベントの開催及びホームページ掲載等により河川事業の紹介等、河川に関する情報の提供を行い、河川事業に関して広く理解を得られるように努める。

第3項 水質事故等に対する対応

水質事故、渇水被害等が発生した場合には、事故状況の把握、関係機関との情報の共有に努め、河川水質の監視、事故処理等について関係者及び関係機関と協力して行い、その影響の軽減に努める。

第2節 地域や関係機関との連携等に関する事項

第1項 水防活動への支援等

流下断面の不足や堤防高さの不足等により氾濫が予想される区域においては、連絡系統等を定めた水防計画を樹立するとともに、関係機関と連携して洪水被害を防止・軽減するための水防活動を支援する。

また、万水川下流域における内水氾濫に対しても、その被害の軽減に向け、安曇野市等と調整を図っていく。

第2項 開発行為に伴う流出量の低減

流域の視点に立った適正な河川管理を行うため、治水上影響が大きい土地の改変を伴う開発行為に対しては、関係機関と連携を図り、流出量の低減に努める。

第3項 関係機関及び地域住民との連携

- (1) 流域が本来持つ雨水の保水機能や地下水かん養機能の保全・向上については、関係機関と連携し、情報共有を図る。
- (2) 河川は流域住民の生命・財産を洪水から守る治水施設としての役割はもちろんのこと、近年においては、貴重な水と緑の空間として人々に潤いを与える役割も評価され、地域と河川の密接な関係を取り戻そうとする気運が高まりつつあることから、計画、施工から維持管理に至るすべての段階において、流域に居住する住民や安曇野市等と連携を図り、地域ぐるみでの“川づくり”を目指していく。

信濃川水系松本圏域河川整備計画（黒沢川）附図

○全体平面図 附図 - 1

○接続区間

平 面 図 附図 - 2

縦 断 図 附図 - 3

標準横断図 附図 - 4

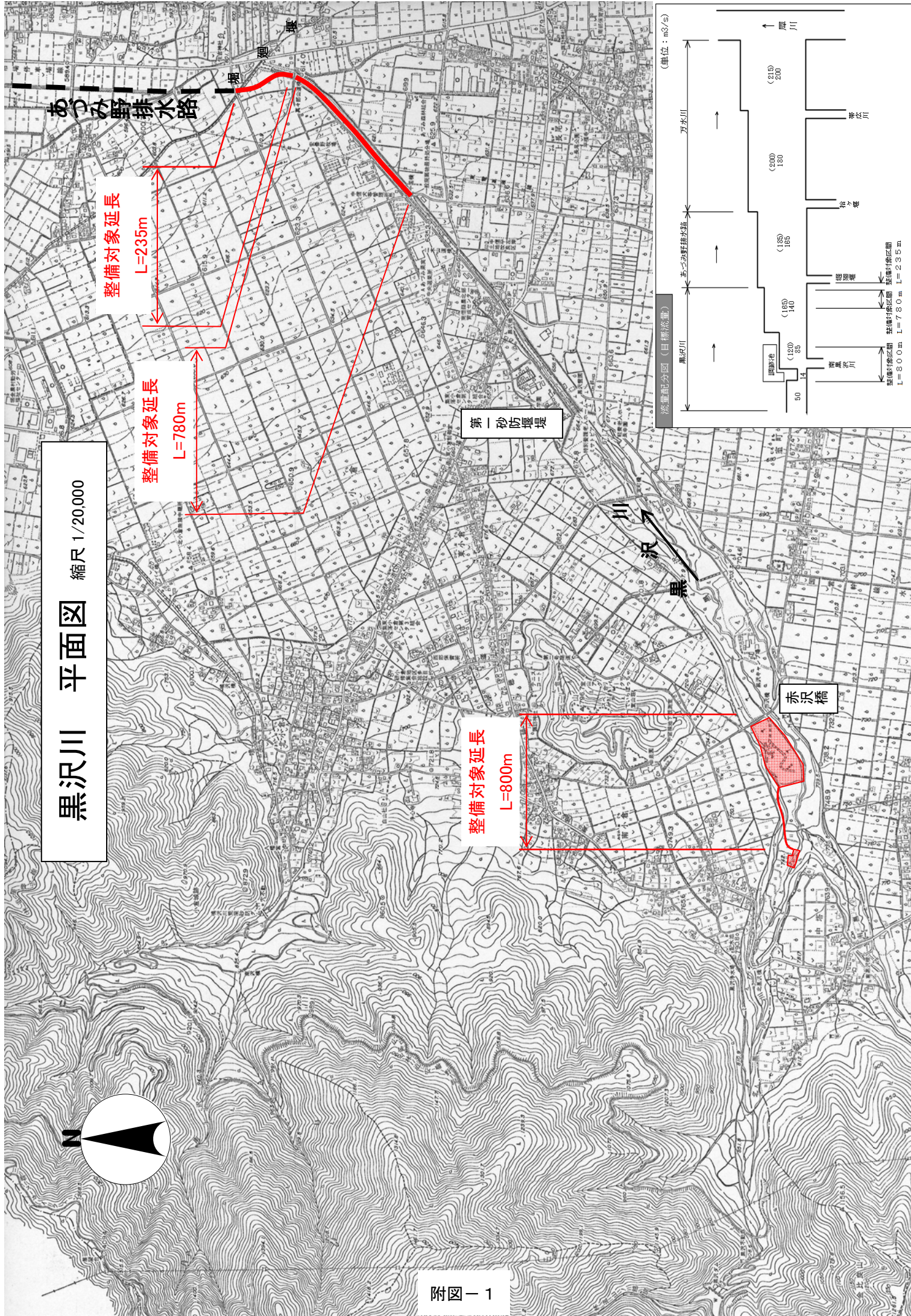
○調節池

平 面 図 附図 - 5

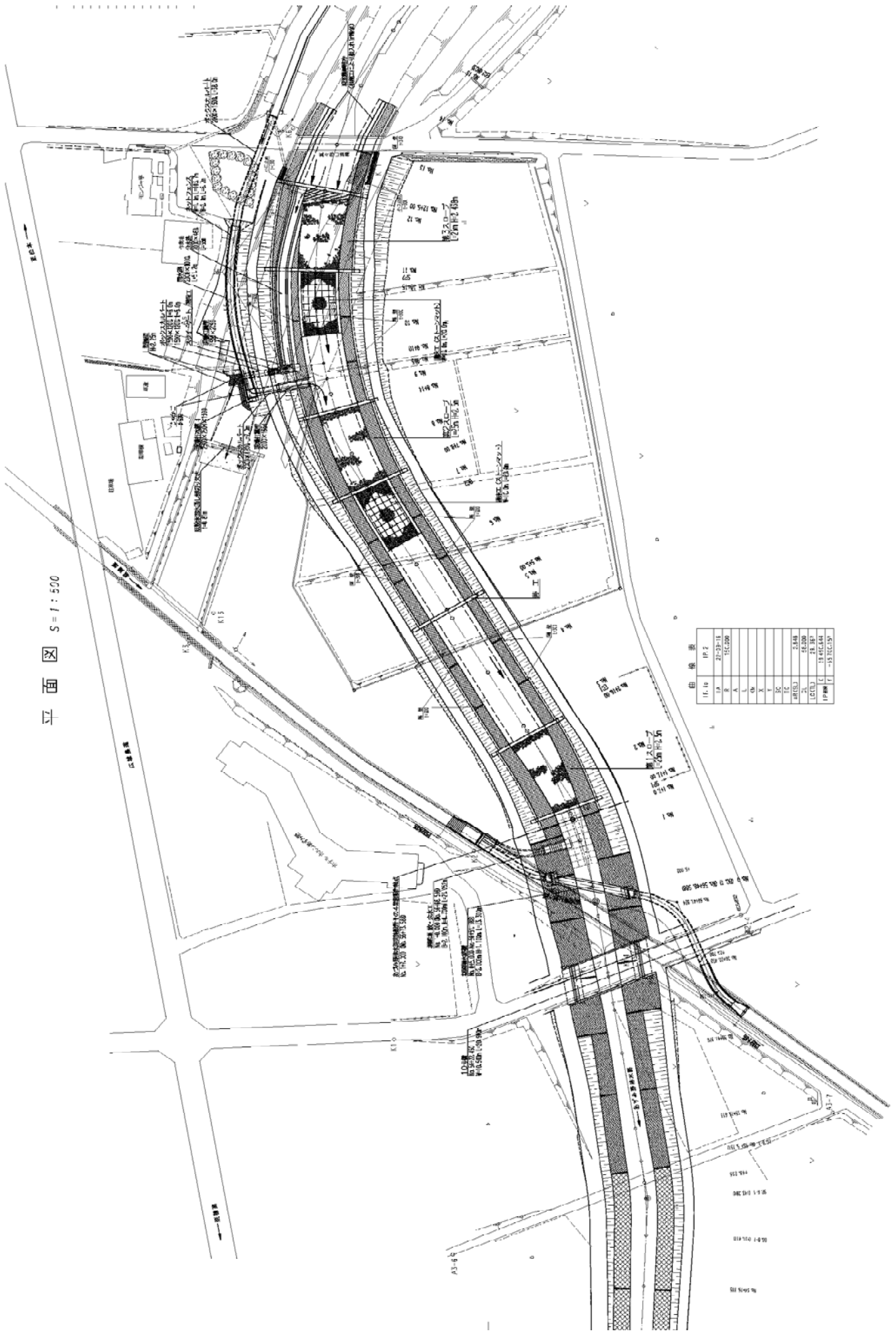
縦 断 図 附図 - 6

標準横断図 附図 - 7

本附図の詳細な位置や構造等については、今後の詳細設計等により変更
することがあります。

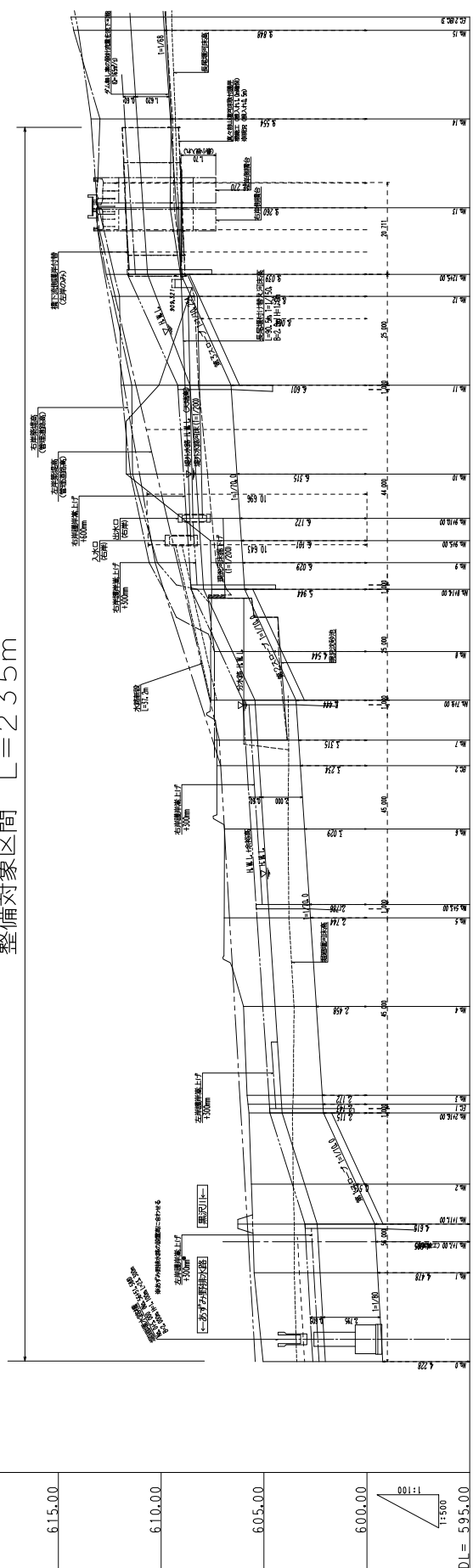


附图—1



附图-2

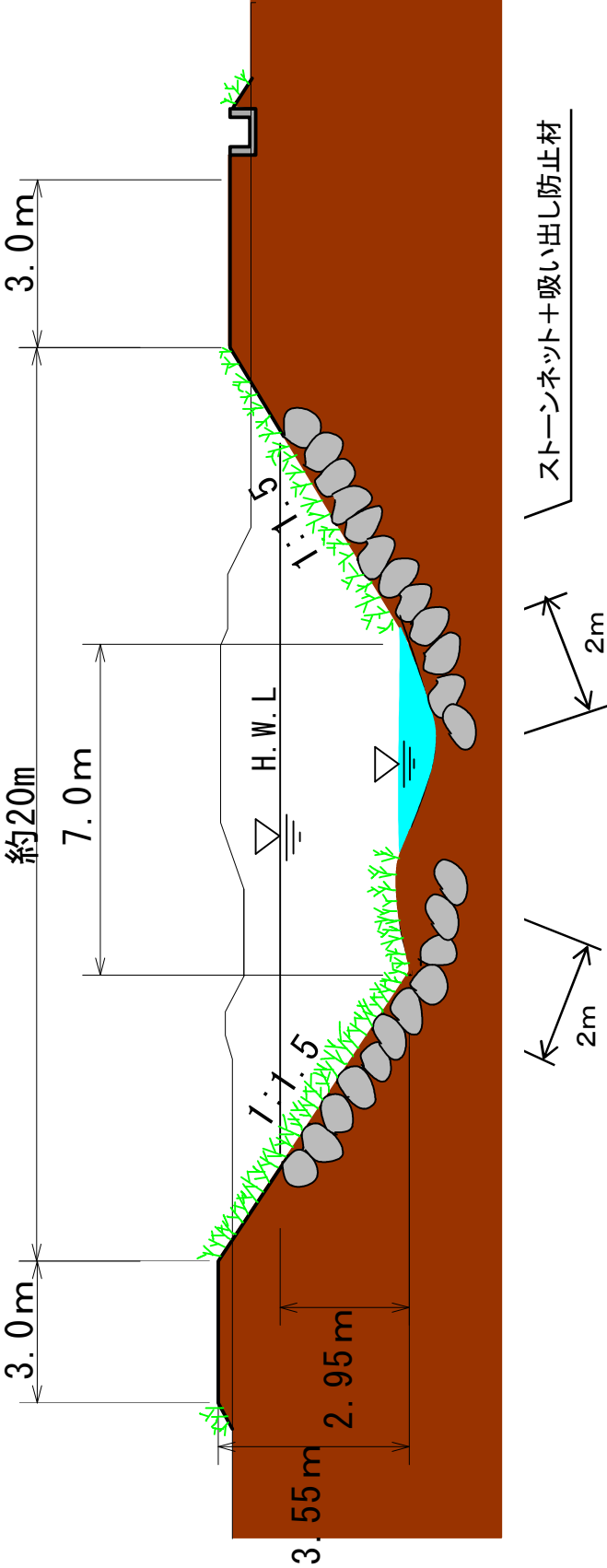
黒沢川接続部縦断面図 $V=1:100$
 $H=1:500$

$$\begin{aligned} V &= 1 : 100 \\ H &= 1 : 500 \end{aligned}$$
$$V = 1 : 100$$
整備対象区間 $L=235\text{m}$ [illegible]

附圖—3

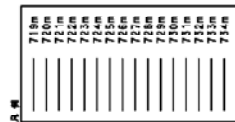
黒沢川 接続部 標準横断面図 (No.5付近)

約 26m

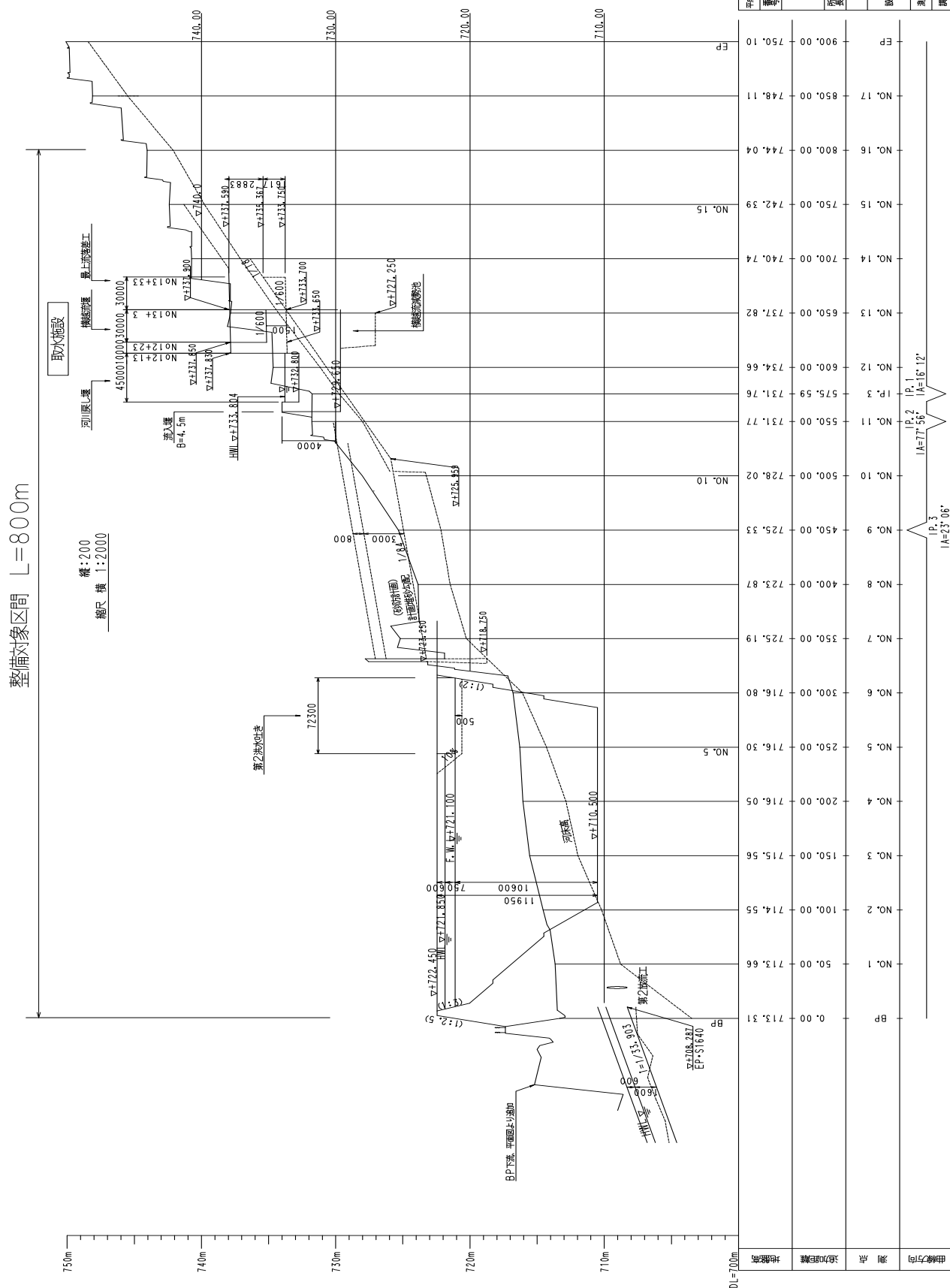


附圖－4

縮尺 1:1000



圖斷維池節圖



黒沢川調節池 標準横断面図 (No.5断面)

